



公益社団法人 兵庫工業会

副会長 藤嶋 純子
(株)フジ・データ・システム



兵庫工業会 NEWS

2025年 9 月号

発行／公益社団法人 兵庫工業会

No.320

副会長就任のご挨拶

■ 巻頭言 ■

このたび、兵庫工業会副会長を拝命いたしました藤嶋純子でございます。歴史と伝統ある兵庫工業会において、このような重責を仰せつかり、身の引き締まる思いでございます。中小企業を経営しております私にできることとして、中小企業に寄り添った会員皆様のお役立ちの思考をもって、兵庫県内地域と産業界のさらなる発展に微力ながら尽力してまいり所存です。また同時に、会員交流事業を検討する委員会の委員長も拝命いたしました。

現在、私たちを取り巻く環境は、急激な技術革新、国際情勢の変化、そして人材確保の難しさといった、かつてない課題に直面しています。このような状況だからこそ、企業間の「つながり」や「対話」の重要性は、これまで以上に増していると感じております。兵庫工業会は、多種多様な業種・業態の企業が集い、規模の大小や業種を超えて、互いに学び、刺激し合える場としての価値は、今後さらに高まっていくことでしょう。私自身もこれまで、会員企業の皆様、行政、関係団体との意見交換や交流の中で、多くの気づきや学びをいただけてまいりました。だからこそ、これからは交流の輪を広げ、深めていくことが私の使命の一つであると捉えております。

ここで改めて、会員交流委員会の主な取り組みをご紹介します。

- ①会員交流見学会：会員相互が交流を強化することを目的とし、産業遺産や特徴ある企業・団体の見学会を開催する
- ②会員交流懇親会：忘年パーティー・ゴルフ大会をはじめ親睦を深める会を開催する
- ③地域交流会：神戸だけでなく、県内各地域で交流会を開催し、地域の行政の方にもご出席を賜り、会長・副会長とともに、各地域会員皆様のご状況・ご要望などの意見交換会を開催する
- ④ものづくり中小企業経営研究会：参加者自ら企画立案し、他では聞けない経営課題を取り上げ、第一線の講師陣からの問題提起と活発なディスカッションを行う研究会の開催。
- ⑤会員企業交流会【新企画として試行開催中】：会員企業を訪問し、その事業・製品・サービスを知ることが第一義とし、併せて事業や経営課題への率直な意見交換を通じて相互の交流・親睦を深める。商談促進につながるネットワークづくりも付随的目的とする

会員企業皆様がこれらを有効活用され、交流を図り、経営に役立てていただけたらと存じます。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

結びにあたりまして、会員企業皆様の発展・交流促進に貢献できるよう、努めてまいります。今後とも変わらぬご指導とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2025年度 第2回理事会 ご報告

8月19日(火)、2025年度第2回理事会をホテルオークラ神戸にて開催いたしました。

理事会では、以下の議案について審議いただき、満場一致で承認され、滞りなく終了しました。

議 案 第1号議案 会員の入会について

報告事項 2025年度の事業執行状況について



理事会の様子

行政との意見交換会 ご報告

兵庫工業会では、ものづくり企業の課題や声を行政に直接届けるとともに、行政施策への理解を深めることを目的に、毎年「行政との意見交換会」を実施しています。

本年度も兵庫県産業労働部、神戸市経済観光局との間でそれぞれ意見交換会を開催しました。

兵庫県産業労働部との意見交換会

開催日：7月25日(金) 会場：神戸国際会館セミナーハウス

兵庫県からは小林産業労働部長をはじめ各課幹部が出席し、兵庫工業会からは正副会長が参加しました。

まず兵庫県から令和7年度のものづくり企業に有用な主要施策が紹介されました。続いて兵庫工業会から、兵庫技術研修大学の刷新構想、女性・文系人材のものづくり企業への活躍促進、工業高校との交流、海外理工系大学卒の人材確保サポート、トランスフォーメーション バイ デジタル (DX) など人材難に関する主要事業の進捗状況を報告しました。

意見交換では、以下のテーマを中心に活発な議論が行われました。

- ・人材確保、育成（工業高校・大学生・保護者への働きかけ、理系人材不足への対応）
- ・SDGs、GX推進（中小、中堅企業への支援拡充やカーボンニュートラルに向けた具体策）
- ・外国人材活用（ベトナムからミャンマー、インドなど新たな人材獲得先への展開）

兵庫県側からは「兵庫工業会の先進的、革新的な事業を参考に施策のブラッシュアップに生かしていきたい」との発言もあり、共創への期待が示されました。

神戸市経済観光局との意見交換会

開催日：8月1日(金) 会場：中央区文化センター

神戸市からは大畑経済観光局長をはじめ幹部が出席し、兵庫工業会からは三宅会長ほか役員・会員企業代表が参加しました。

冒頭、神戸市内の会員企業4社から近況報告があり、人材不足への対応や海外展開、地域貢献の取り組みなどが紹介されました。

続いて神戸市から令和7年度のスタートアップ支援、海外ビジネス支援、住宅手当補助制度など主要施策の紹介をいただき、兵庫工業会からも主要施策を紹介しました。

意見交換では、以下のテーマを中心に率直な議論が交わされました。

- ・人材不足、採用環境の変化（新卒採用難⇒中途、第2新卒へのシフト、保護者への働きかけ）
- ・外国人材の活用（採用に伴う課題や成功事例、日本語教育などの育成体制）
- ・シニア雇用の可能性（再雇用の実態、シルバー人材活用）

これらの議論で特に若年層の流出や中小企業の採用難の深刻さが浮き彫りとなる一方で、企業独自の工夫や行政施策の活用事例も紹介され、双方に気づきが得られた有効な意見交換となりました。

8月19日(火)、ホテルオークラ神戸にて「テクノフォーラム2025」を開催しました。

今回は、人口減少や若者の理系離れ、兵庫県外への人材流出などを背景に「人材難をチャンスに変換！未来へ放つ3本の矢!!!」と題して、3人の専門家にそれぞれ異なる視点での講演をいただきました。

まず株式会社人材研究所 代表取締役社長 曾和利光氏に登壇いただき「企業戦略と人材確保戦術の完全連動～ブルーオーシャン創出の採用活動に向けて～」と題してご講演いただきました。新卒求人倍率は全体で1.6倍、社員300人未満の中小企業に限れば約9倍、5千人以上の大企業では0.4倍と規模格差が顕著で、製造業では2倍を超える一方、金融や情報通信は1倍を割る実態を示されたうえで、「採用活動はまずデータから紐解き自社向けの解析をすることと、自社が求めている人物像を徹底的に明確化していくことが重要で、そうすれば自社にとって最適な採用活動ができるはず」と力説。例えば「誰もが狙う激戦層よりも、就活意欲の低い学生や工学部以外の競合の少ない学部の学生などを対象に、オンライン採用・スカウト型採用などを取り入れていけば、自社なりの『採用活動におけるブルーオーシャン』が必ず描ける」など、採用活動における理論と実践的手法の教示を頂きました。



曾和 利光氏

続いて、桜美林大学 副学長・リベラルアーツ学群教授 堀潔氏（産業組織論）に「中小企業の外国人活用～企業戦略としての外国人活用を考える～」と題してご講演いただきました。採用前後の研修を他人任せにせず丁寧に行うことや、賃金面だけでなく「なぜ日本を選んだのか」「どのような要望があるのか」を把握し、生活や趣味、将来の起業支援など個別のニーズに応じた対応が成功の鍵であることを解説。また、「若者や女性にも活躍機会を与えている職場ほど、外国人の活躍が顕著で異文化受容力が高いという解析結果もでており、これらをヒントに競争力向上に繋げていって欲しい」とのアドバイスをいただきました。外国人採用・育成活動について、日本の中小企業存続・発展をテーマに幅広い研究を行っている学識経験者に語ってもらったことは、非常に意義深いことでした。



堀 潔氏

最後に、株式会社DXパートナーズ 代表取締役 村上和彰氏に「なぜ兵庫？なぜものづくり？から考える！そしてデジタルと生成AIを前提に答えを出す！！」と題してお話しいただきました。多くの企業が問題に対して「(いきなり)何をするか」から考えるため効果が出ない！との挑戦的なコメントからはじまり、「なぜ→どのように→何を」の順で思考していくことが重要。その思考で、従前のオーソドックスなゲームチェンジャーを目指すよりも、ルールチェンジャーを目指す。そうすればより巨大で持続的な勝ちが得られる。デジタルと生成AIを前提に、「なぜ兵庫？」「なぜものづくり？」から思考を深化させ、ものづくりのDNAを宿す兵庫からものづくりのワクワクをみんなで発明、人が集い活気あふれる兵庫を創っていきましょう！と力強い提案をいただきました。



村上 和彰氏

放射状に放たれた3本の矢が、160名を超える参加者の未来へと向かうチャレンジ精神に火を灯した講演会となりました。



旭光電機株式会社

本社 〒652-0032 神戸市兵庫区荒田町1-2-4

T E L : 078-515-8601 / F A X : 078-515-8602

URL : <https://www.kyokko.co.jp/>

代表取締役社長：和田 貴志

～変化の時代を勝ち抜く、旭光電機の「現場AI」挑戦～

旭光電機株式会社は1947年の創業以来、今年で74期を迎える電子機器開発製造メーカーとして、社会の多様なニーズに応え続けてきました。当社の最大の強みは、安全と信頼性が極めて重視される分野で長年培ってきた、卓越した技術力と確かな品質にあります。特に、鉄道車両用センサでは国内シェア100%を達成し、自動ドアセンサにおいても国内トップシェア70%超を誇るなど、私たちの製品は社会の安全と利便を支えるインフラに深く貢献しています。さらに、船舶のエンジン制御システムや、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の人工衛星向け機器といった、極限の信頼性が求められる分野においても、当社の技術力は高く評価されています。長年にわたる多様な製品開発と製造を通じて蓄積された、ものづくりの知見と、コア技術である高品質なセンサ開発力は、当社の事業活動の根幹をなしています。この実績が認められ、当社は2020年には「地域未来牽引企業」に、2024年には経済産業省の「飛躍的成長挑戦プログラム」に認定されるなど、その実力は広く認知されています。私たちは、近年IoT関連事業へも積極的に取り組み、自社工場のDX化を進めてきました。そして現在、この豊富な経験と実績を基盤に、急速に進化する生成AI技術を取り入れ、製造現場の未来を切り拓く新たな挑戦へと踏み出しています。



旭光電機は、2025年度「成長型中小企業等研究開発支援事業（GO-TECH）」に採択され、「生成AIと現場データがつながる自律型生産支援基盤の構築」という挑戦的かつ実践的なテーマに取り組んでいます。この挑戦の背景には、社会の急速な変化、特に生成AI（LLM）の目覚ましい進化があります。しかし一方で、日本の製造業は深刻な競争力低下に直面しており、2024年版中小企業白書によれば、全社的なDX展開はわずか6.9%以下にすぎません。

当社もDX化に積極的に取り組んできましたが、変動の多い製造現場ではAIモデルの学習・再調整に高コストがかかる経験から、人とシステムの連携不足がDX推進の根本的な障壁であると痛感しました。この長年のものづくりの知見とDX推進で得た課題意識が、今回のGO-TECH事業へと繋がっています。弊社のコア技術である高品質なセンサ開発力と長年の電子機器製造ノウハウは、「現場に根ざした、使えるDX」の実現と極めて高い親和性を持っています。また、本事業は、兵庫県立工業技術センター様、マイクロソフトAIラボ様、川崎重工工業様など、各分野のリーディングカンパニーとの共創体制のもと推進されています。

旭光電機が取り組む生成AIと現場データがつながる自律型生産支援基盤の構築は、誰でも簡単に扱える生成AIを活用したシステムとデバイス開発です。

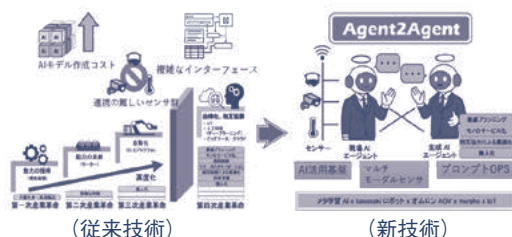
私たちが目指すのは「AI of Things」という未来です。これは、生成AIと現場データが結びつき、人が不完全な指示を出しても、AIが現場データを基に分析し、必要な情報の追加や高度分析の手順まで提案してくれる、まさに「対話でつながる現場」を実現します。

この変革により、製造現場は以下のメリットを享受できます。

- 属人化業務の脱却と技能の形式知化：熟練者の暗黙知をAIが記録・学習し、誰でも高品質な作業が可能になります。
- スモールスタート可能なDX：既存設備を活かし、最小構成から段階的に導入できるため、中小企業でも導入のハードルが大幅に下がります。
- 多様な人材の活躍：AIが作業手順の確認や判断補助を行うことで、高齢者、復職者、外国人材など、多様な背景を持つ作業員も即戦力として活躍できます。
- 省人化と業務改善：データに基づく分析と自動化により、現場の効率が向上し、省人化やリソース削減に繋がります。

本プロジェクトで開発する技術は、製造業に留まらず、建設業、食品加工、農業、物流、医療・福祉など、複雑・多様な業務を抱え、現場力が重要なあらゆる産業に適用可能です。例えば、弊社の主力事業である自動ドア技術とAI、マルチモーダルセンサを融合させることで、単なる「入口」を、人やモノの入退場を見守り、健康状態を非接触でモニタリングする「AIドアマン」や「AIヘルスチェックゲート」といった、社会課題を解決する新たなインフラへと進化させる可能性も秘めています。

旭光電機は、この事業を通じて、日本のものづくり現場の競争力向上に貢献し、お客様・社会・弊社すべてにとってWin-Win-Winとなる未来を目指してまいります。兵庫の地から、世界を牽引するDXを推進するため、研究開発に邁進してまいりますので、皆様のご期待に添えるよう、今後ともご支援・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



募集要項

■論文テーマ：『社会人としてのこれからの夢』

『企業が目指す働き方改革への取り組み』

『ものづくり企業の魅力とあるべき姿』

※上記テーマから1つを選んでください。

■応募期間：2025年8月1日 ～ 2025年11月30日（必着）

■応募記載要領（要領から外れた記載は減点の対象となりますのでよくお読みください）

（1）A4・横書き、Wordデータとする ※原稿用紙設定不可・PDF不可

フォントは「明朝体」、フォントサイズ=10.5

（2）構成：表紙を1ページ目として、

題名・会社名・所属・所属先住所・氏名・生年月日・入社年月日を記載

：2ページ目から「本文概要」、「本文」を記載（「本文概要」と「本文」が審査対象）

（3）「本文概要」、「本文」文字数：2,500文字 ～ 3,500文字

（図表、図表解説文、出展記載はカウント外／過不足があれば事務局よりご連絡、修正をお願いします）

（4）「本文」で引用した文章、図表、数値等については出展を本文とは別に「出展」として明記

（5）執筆者にしか書けない意見・所見を本文中に必ず明記する

（この部分における生成AIの使用は禁止致します）

■提出方法：Eメール（ronbun@hyogo-ia.or.jp）にて事務局までお送りください。

※1）論文データ確認後、事務局より受付のご連絡をさせていただきます。

また、ご記入いただきました情報は本事業実施のためのみ使用させていただきます。

※2）応募後の退職につきましては、速やかに事務局まで連絡をお願いいたします。

■審査：一次・二次・三次による厳正な審査を経て2026年3月末日

兵庫工業会ホームページにて結果発表いたします。

■表彰：2026年5月開催の兵庫工業会 通常総会時に表彰式を実施

最優秀賞 1名 副賞5万円（兵庫工業会ニュースに掲載いたします）

優秀賞 1名 副賞3万円

優良賞 1名 副賞2万円

※その他の応募者には奨励賞をお渡しいたします。

■その他：兵庫工業会ホームページからも募集案内をご覧いただけます



人材難課題解決事例紹介イベント ご報告

7月16日(水)、自動車電装部品、水中ポンプなどを製造しているTAIグループの(株)タイネクス 多可R&Dセンターにおいて、「ものづくり企業における海外理工系大卒エンジニア採用を製造現場で考える」と題したイベントを開催し、企業の人事担当者、行政・関連団体の方々 計23名にご参加をいただきました。

深刻化する人材難への対応策として、近年注目されているのが外国人材の活用です。本イベントでは、いち早く外国人テクニシャン・エンジニアの採用・育成に取り組まれてきたTAIグループの実例をもとに、製造現場での実際の様子を見学するとともに、経営的視点からの講話や、外国人エンジニアの生の声を伺う貴重な機会となりました。

会社概要説明の後、工場および居住エリアを見学しました。

社員の約3割が外国籍となっている同社では、外国人テクニシャン・エンジニアと日本人サイドがプライベートな面も含めしっかり連携して人間関係を構築した上で、安定した品質と生産体制を維持しておられました。実際に業務中の外国籍従業員の様子を間近に見学させていただき、参加者にとって大きな刺激となりました。

その後のプレゼンテーションでは、代表取締役会長 田井三治氏より、外国人エンジニア採用の背景や、20年先を見据えた企業経営の在り方、さらにはミャンマーとの信頼関係を基盤とした人的ネットワーク構築についてご講話いただきました。「単なる労働力としてではなく、企業の未来を共に築く仲間として迎え入れることが重要」との強いメッセージが印象的でした。

続いて、代表取締役社長 田井甫氏からは、採用後の育成方針として、現場での伴走型指導や日本語教育の取り組みなど、実務に即した具体的な内容をご紹介いただきました。参加者からは「現実的かつ実践的な内容で、是非自社の参考にしたい」との声が寄せられました。

また、ミャンマー出身の二人の若手エンジニアが登壇され、日本で働く中での経験や学び、将来に向けた抱負などが語られました。丁寧な日本語での発表、受け答えに参加者からは感嘆の声と温かな拍手が送られ、両氏の向上心と誠実な姿勢に感銘を受けた方も多かったようです。

イベントを通じて、外国人材の受け入れが、単なる人手不足への対応にとどまらず、企業の持続的な発展への経営戦略にしっかりと組み込まれた活動であることが実感できました。

今後とも、兵庫工業会では人材難への対応策を様々な角度から皆様と一緒に考えて参ります。



田井会長ご挨拶



外国人エンジニアのお話

ものづくり中小企業経営研究会 成果発表会

6月17日(火)、神戸市産業振興センターにて、「ものづくり中小企業経営研究会（以下、研究会）」が2024年度に取り組んだ経営課題とその解決策を共有する「成果発表会」を開催しました。当日は県内の中小企業経営者など20名にご参加いただきました。

第1部の成果発表会は2部構成で行われました。

まず、2024年度研究会代表の山田氏より「経営研究会の取り組みについて（テーマ：パーパス経営）」と題してこれまでの活動の歩みと2024年度の成果をご報告いただきました。

2024年度は、自社の存在意義をパーパス経営の観点から考察し、その浸透方法や実践方法を共有。参加者にとって多くの刺激や気づきがあったとの報告がありました。

続いて、研究会ファシリテータの永里氏からは「経営研究会から見えた中小企業経営者への提言」として、「パーパス経営の方法論は理解できたが、経営への効果検証は十分でなかった。定義したパーパスを社員と共有し理解と共感を得る取り組みが重要である」との指摘と提言がなされました。

第2部では基調講演として、兵庫県立大学大学院 内田教授に「顧客洞察からの非ディスラプティブ戦略」と題して、ご講演いただきました。

講演では、イノベーションのジレンマやブルー・オーシャン戦略を踏まえ、顧客洞察を起点に既存資源や業種連携で非ディスラプティブ市場を創出する方法を解説。製造業における事例（ネジザウルスや油圧シリンダ）を交えながら、新市場を創出するフレームワークを紹介いただきました。



成果発表の様子



基調講演の様子

金属加工の基礎知識のご案内

金属加工の基礎知識を理解し、実践するための能力を身に付ける入門講座です。
加工技術、材料の特性など、金属加工に関する知識を広く紹介いたします。

【対象】 金属加工に関わる現場作業員・営業担当者など、基礎知識を習得したい方

【定員】 30名（先着順）

【参加費】 会員企業：5,500円（税込）

非会員企業：9,900円（税込）

【開催】 1回（9時～16時）

11月13日(木) ① 9時～12時 金属材料の特性と種類

② 13時～16時 加工技術

お問い合わせ先：姫路事務所〈担当：是川・宮岸〉 TEL：079-223-8230

◆詳細は兵庫工業会 ホームページをご覧ください。◆



創立40周年記念事業 「HYOGOものづくりビジネススクール」のご案内

中小企業を取り巻く経営環境は、変化の加速や競争の激化、深刻な人材不足など、ますます厳しさを増しています。

いま必要なのは、正しく考え、選び、動く「経営の軸」を持った人材です。

本スクールは、企業の次期経営者・幹部候補者を対象に、「経営の全体像把握」「財務基礎の習得」「戦略的思考の実践」を3つの柱に据え、短期間の実践型プログラムで経営者としての視点と意識を効果的に醸成する全6回の短期集中プログラムです。

【スクール概要】

対 象：中小製造業の次世代経営者・幹部候補者

日 程：2025年10月～2026年3月（全6回）13：00～17：00（各回終了後に交流会）

会 場：神戸市立中央区文化センター（予定）

定 員：15名（先着順）

参加費：会 員 12万円 40周年記念価格6万円（税別）

非会員 15万円（税別）

詳細・お申込みはこちら→



内 容：

第1回（10月16日）・テーマ「経営とは？」

内 容 経営者の役割、マネジメントとアントレプレナーシップ、ロールプレイング他

第2回（11月28日）・テーマ「アカウンティングとファイナンス①」

内 容 財務3表の理解、利益とキャッシュの違い、決算書の読み方・演習

第3回（12月12日）・テーマ「アカウンティングとファイナンス②」

内 容 財務分析、キャッシュマネジメント、投資評価

第4回（1月23日）・テーマ「経営戦略①」

内 容 経営戦略とは、外部環境分析、フレームワークを用いた思考演習

第5回（2月17日）・テーマ「経営戦略②」

内 容 経営資源の棚卸し、事業コンセプト構築、競争優位の源泉

第6回（3月12日）・「成果発表&講演」

内 容 自社課題に対する戦略的提案の発表・講評、講演

＜講師紹介＞



コーディネーター
瓶内 栄作氏



アカウンティングとファイナンス担当
國貞 克則氏



経営戦略担当
吉村 典久氏

2025年度 現場安全研究会のご案内

本研究会は企業で労働安全に携わる総務・人事の方、ものづくり現場の管理者・監督者の方に参加いただき、事例研究（工場見学）、危険体験、グループミーティングを通じて、日々潜在する危険や不安全行動を抽出し、労働災害の未然防止等のリスクマネジメント強化を狙います。

【対 象】安全管理に携わる部門の責任者や管理者、職場の不安全行為の撲滅をお考えの方、自社の安全管理のあり方を見直されている方 など

【定 員】10社（先着順）

【参加費】会 員 企 業：66,000円／社（税込） 2名参加 可

非会員企業：99,000円／社（税込） 2名参加 可

【開 催】11月18日(火)・12月18日(木)・2026年1月27日(火)・2月16日(月)

13：30～16：30/回

※いずれの日程も予定

お問合先：姫路事務所 [担当：是川・宮岸] TEL：079-223-8230

2025年度 品質管理研究会のご案内

本研究会は品質保証部門をはじめ製品実現プロセスに関わる方々にご参加いただき①自社の立ち位置の確認 ②潜在する課題の発掘 ③直面する問題点の解決・克服のため事例研究や専門家との議論を通じ、品質保証の仕組みを追及し、品質レベルの向上を目指します。

【対 象】品質、設計、製造、購買、検査など製品品質に携わる部門の責任者やその候補者 など

【定 員】10社（先着順）

【参加費】会 員 企 業：66,000円／社（税込） 2名参加 可

非会員企業：99,000円／社（税込） 2名参加 可

【開 催】12月8日(月)・2026年1月30日(金)・2月20日(金)・3月11日(木)

13：30～16：30/回

※いずれの日程も予定

お問合先：姫路事務所 [担当：是川・宮岸] TEL：079-223-8230



◆詳細はいずれも兵庫工業会 ホームページをご覧ください◆

新 会 員 紹 介

株式会社シンクスコーポレーション 西日本事業部

代 表 者 取締役 西日本事業部統括
齋藤 健太
所 在 地 〒658-0033
神戸市東灘区向洋町西4-2-3
T E L 078-846-0122
F A X 078-846-0133
U R L <https://www.shinx-corp.co.jp/>
資 本 金 88,370千円
従業員数 418名

■営業品目

アルミニウム板・棒、ステンレス板等の非鉄金属材料の切断もしくは切削加工（フライス加工）品の販売

■事業内容

当社は1997年の創業以来、主に機械部品向けの非鉄金属素材（アルミニウム・ステンレス等）並びにその一次加工品（切断・フライス加工品等）を供給してきました。「金属材料+αをお届けする」をモットーに、顧客の利便性に資する商品・サービスの提供に注力しております。2019年、六甲アイランドに西日本エリアをカバーする工場拠点を設立いたしました。これからも地域の皆様に喜ばれる素材供給、ものづくりに努めてまいります。



兵庫工業会ホームページに会員様の企業広告を掲載できます。



※広告をクリックするとHPへ移行いたします。

◆サイズ：縦：横 = 400px : 580px JPEG形式として
容量 = Max 4MBまで

※アニメーション、ロールオーバー等画像が変化するのはご遠慮願います。
※広告デザイン等につきましては、広告主様で作成をお願い致します。

◆掲載期間・料金：1年 / 20,000円 (税別)

※掲載期間についてはホームページ掲載後1年とします。

◆詳細・お申し込みは右記QRコードまたはHPよりお願いいたします。



お申込
・
問合せ先

公益社団法人 兵庫工業会 事務局 (担当：川井、宮岸)

〒650-0011 神戸市中央区下山手通 6-3-28 兵庫県中央労働センター3階
TEL : 078-361-5667 FAX : 078-371-4336

会 員 動 向

代表者登録変更				
企 業 名	新 登 録 者		旧 登 録 者	変 更 月
グローリー株式会社	取締役 副社長	尾上 英雄	小谷 要	2025年6月
株式会社コベルコパワー神戸	代表取締役社長	久山 誠二	木本 総一	2025年6月
株式会社神鋼環境ソリューション	代表取締役社長	奥村 秀樹	佐藤 幹雄	2025年6月
公益財団法人ひょうご科学技術協会	理 事 長	畑 豊	平尾 公彦	2025年6月
川重車両コンポ株式会社	代表取締役社長	長沼 宏明	志摩 貴司	2025年7月
川重マリンエンジニアリング株式会社	代表取締役社長	加藤 恒司	森田 進	2025年7月
株式会社きんでん 神戸支店	執行役員 支店長	田野 貞雄	垣内 康男	2025年7月
神戸土地建物株式会社	代表取締役社長	西村 祐一	高田 厚	2025年7月
菱井商事株式会社	代表取締役社長	岡本 孝弘	豊嶋 義富	2025年7月
ユニオン精機株式会社	代表取締役社長	金丸 明夫	山本 正信	2025年7月
住所変更				
企 業 名	新 住 所			変 更 月
大王電機株式会社	伊丹市鋳物師4-71			2025年7月
富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社	神戸市中央区磯上通2-2-21 三宮グランドビル 9 F			2025年8月

イベント情報

月 日	事業名・内容	場 所
10月16日(木)~2026年3月12日(木)	HYOGO ものづくりビジネススクール	神戸市立中央文化センター 他
11月11日(火)~11月12日(水)	SDGs研修会 ものづくり技術懇話会	福岡市周辺・北九州市
12月5日(金)	40周年記念交流懇親会	神戸ポートピアホテル

公式SNSで情報発信中！

ぜひ、フォロー・ご登録ください！

Instagram➡



兵庫工業会HP➡



ご入会・セミナー・講演会・研修などのお問合せ・お申込みは…



公益社団法人
兵庫工業会

本 部
神戸事務所

〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター 3 階
TEL 078(361)5667 / FAX 078(371)4336 / Eメールアドレス mail@hyogo-ia.or.jp
URL http://www.hyogo-ia.or.jp

姫路事務所

〒670-0962 姫路市南駅前町123 じばさんびる 3 階
TEL 079(223)8230 / FAX 079(223)8231